

2019 日本カヌースプリント選手権

(9月2日～6日：東京都江東区 海の森水上競技場)



女子カナディアン
500m
2連覇

つばた 5 めぐみ
坪田 恵 3等陸尉

カナディアン
片漕ぎ種目
カヤック
両漕ぎ種目

9月2日(月)～6日(金)、2020年東京オリンピックカヌー競技会場となる東京都江東区海の森水上競技場において、2019日本カヌースプリント選手権大会が行われた。今大会に体育学校からカナディアン(片漕ぎ)種目に5名、カヤック(両漕ぎ)種目に2名の計7名が出場した。

女王 坪田 圧巻の勝利

大会4日目、女子カナディアン500mに坪田恵3等陸尉が出場し、予選1位で決勝に駒を進めた。迎えた決勝、坪田3尉はスタート直後から先頭に立ち、一步リードする展開。この種目同じナショナルチームでライバルでもある久保田愛夏選手(ぎふ瑞穂スポーツガーデン所属)が後半追い上げてきたが、坪田3尉は力強い漕ぎで2分32秒071と2位の久保田選手を1秒003引き離しゴール。この種目2連覇を達成した。試合後、坪田3尉は「スタートから隣の久保田選手が見えていた。久保田選手は後半に強い選手で追い上げてくるのもわかっていたが、冷静にまっすぐゴールを見て漕いだ。次は、アジア大陸予選でしっかり結果を出し、来年の五輪出場に繋げたい。」と語った。

健闘

男子カナディアン 佐藤2曹 1000m 500m 藪3曹 500m



さとう ひかる
佐藤 光 2等陸曹

2種目で表彰台に上がった佐藤2曹。「次のワールドカップ第2戦(2020年5月)でしっかり結果を残し五輪代表を目指したい。」と意気込みを語った。



やぶ あおと
藪 碧透 3等陸曹

前日の1000m準決勝で力を使い果たし、決勝で9位と不満の残る結果となった藪3曹。翌日の500m競技では、気持ちを切り替え見事第2位となった。

試合結果(入賞以上)

階級	氏名(出身地)	種目	1000m	500m	200m
3等陸尉	坪田 恵(広島県)	女子カナディアン		優勝	4位
2等陸尉	佐藤 光(佐賀県)	男子カナディアン	2位	3位	
3等陸曹	藪 碧透(北海道)	男子カナディアン		2位	
3等陸曹	小又 明良(広島県)	男子カヤック			8位
3等空曹	熊井 友弥(大分県)	男子カナディアン	5位		



CONOE カヌースプリント SPRINT kayak4 東京へ 藤嶋2等陸曹(山梨県出身) 松下3等陸曹(石川県出身)



藤嶋2曹



松下3曹

8月21日～25日、セゲド(ハンガリー)で行われた世界選手権に自衛隊体育学校から藤嶋大規2陸曹、松下桃太郎3陸曹の2名が日本代表として出場した。

大会最終日、男子カヤックフォア500mの順位決定戦に4漕者：藤嶋2曹、2漕者：松下3曹が出場した。前半はパワーに勝る外国勢にリードを許したが、日本チームの持ち味であるラストスパートでアジア最上位を争うカザフスタンを突き放し、アジア参加国中トップでゴール。総合12位となり、東京五輪の出場枠を獲得した。

日本カヌー連盟は五輪代表先行基準で出場枠を獲得した選手を日本代表と定めており、体育学校では五輪出場内定第一号となった。藤嶋2曹、松下3曹は自衛隊入隊前の2012年ロンドン大会以来2大会ぶり2回目の出場となる。

CONOE カヌースプリント SPRINT 五輪選考について

藤嶋2曹、松下3曹を除く選手の2020東京オリンピック出場は、「アジア大陸出場枠選考会(2020年3月)」又は「ワールドカップ第2戦(2020年5月)」で内定する。各選手はこの2大会出場を目指し、引き続き過酷な代表選考レースを戦ってゆく。

PHOTO GALLERY 自衛隊体育学校フォトギャラリー

選手たちの活躍を自衛隊体育学校ホームページをご覧ください。フォトギャラリーに写真を掲載しています。http://www.mod.go.jp/gsdf/phy_s/index.html

自衛隊体育学校 検索

